

主催:NPOフリースクール僕んち

東京ボランティア・市民活動センター「2022 夏のリモート・ボランティア+(プラス)」参加事業

新学期が迫ってきた今、
悩ましい気持ちになっている子どもと親の皆さんへ・・・

私たちからのメッセージ

少し先をゆく私たちの経験を聞いて、少しでも楽になって下さい！

8月21日(日)7:30pm~9:30pm ZOOMにて開催。無料。

参加希望の方、fsbttoru@yahoo.co.jp もしくは、090-3905-8124 までご連絡ください。

今回、東京ボラセン「夏のリモボラ」に参加する企画で、不登校を語る何かができないかと考え、初めて呼びかけてみた所、自分の経験が役に立つならと、数名の方が申し出て下さいました。

「フリースクール僕んち」とは縁もゆかりもない、初対面の各地の皆さんですが、学校にまつわる人間関係などに悩みつつ生き延びてきた「サバイバー」として、それぞれの人生観から学ぶ事で、「現実」を乗り越える、色々な発想やヒントが得られる予感があります。

「当事者」の皆さん、どうぞご参加下さい！ NPOフリースクール僕んち 代表 タカハシトール

今回の体験発信者の皆さん

ながた (大学2年・20歳 埼玉) 小学校5年生から不登校気味になり、6年生で不登校になりました。その後、中学は相談室登校、高校は通信制高校といった進路をたどり、今現在は大学2年生となっています。そんな私の話を皆さんの前で話させていただければと思います。せっかくの機会なので、少しでも耳を傾けて聞いてもらえると嬉しいです。よろしくお願いします。

あおい (高3・東京) 私には約1年半、外に出ることができなくなってしまった時期があります。高校も不登校になり、最終的に中退しました。将来への希望が持てず、曜日感覚も時間感覚もなくなり、狭い部屋に閉じこもって、「消えたい」と毎日泣いていました。私は中退を経て別の高校に編入したため、同い年からは1年遅れてしまっているものの、19歳での卒業を目指し高校に通っています。大丈夫。なんとかなります。私が身をもって証明します。

K(大学3年・青森) 明確な不登校期間というものは無いが、小学4~6年前半までは学校を休みがちだった。理由はちょうど太ってきてしまっていて男子から容姿いじりされたこと、ことある事に嫌味を言うてくる同性の子がいたこと、小学5.6年の担任が不登校の子を沢山生み出すようなモンスターのよう人だったことだ。小学6年生のとき、1番優しく接してくれた親友が中学受験すると知り、短い時間だけど彼女と一緒にいる時間を増やしたいと思い徐々に抜け出していった。

もう1名、調整中です

.....

NPOフリースクール僕んちについて:28年前に、東京・世田谷区に開設しました。既存の学校が合わない子は
大勢いるはずなのに、学校外の選択肢が無ければ、学校に行かない選択をしたくてもできない。「遊びと学
びを分けない」「トラブルはミッション」「楽しい時を重ねて初めて生きていたくなる」などの考え方で運営。
20名ほどの会員メンバーが、日々、マイペースで利用しています。ボランティアも常に求めています。
Facebook「フリースクールぼくんち」 メール:fsbttoru@yahoo.co.jp
tel:090-3905-8124(タカハシ携帯)